

平成 26 年度隠岐世界ジオパーク推進協議会総会 議事録

■ 日時

平成 27 年 3 月 16 日（月） 14：30～15：40

■ 会場

隠岐支庁合同庁舎別館 3 階

■ 別添出席者名簿のとおり

■ 議事

1. あいさつ

隠岐世界ジオパーク推進協議会会長

2. 協議事項

- (1) 平成 26 年度事業報告
- (2) 平成 26 年度決算見込みについて
- (3) 平成 27 年度事業計画（案）
- (4) 平成 27 年度当初予算（案）について

3. 報告事項

- (1) 隠岐世界ジオパーク活用推進検討会議での検討状況
 - ・活用推進検討会議設置の経緯と会議日程
 - ・活用推進検討会議の委員名簿
 - ・活用推進検討会議の論点整理と提案

4. その他事項

- (1) 環境省事業について
 - ・隠岐ビジョンの策定について
 - ・環境教育プログラムの施行実施

概要

1. あいさつ「松田会長」

みなさんこんにちは、年度末を迎えましてなにかとご多忙の中、おでかけいただきまして、総会が開催できますことを大変喜んでおります。ありがとうございます。

現在、ジオパークのブランドを活かした地域振興でありますとか観光振興を図るための課題でありますとかその対応策を検討していただくために県の自然環境課が事務局をおさめておりますジオパーク活用推進検討会議が今年の 10 月に設立されまして、今、その検

討がかさねて検討されていると思います。一昨年までは、世界認定という大きな目標を掲げて活動を行ってきたわけですがこれからは、世界認定というブランドを活かした地域振興でありますとか観光振興の取組が求められています。また、平成29年に待ち受けております再認定のクリアに向けての取組がこれからの1つの課題に求められていることかと思っております。本日は、平成26年度の事業報告・決算見込みさらに平成27年度事業（案）・予算（案）おきましてご審議いただきますとともに、推進協議会の規約改正についても審議をさせていただくこととさせております。また、報告事項といたしまして隠岐世界ジオパーク活用推進検討会議活動状況につきましてもご報告をさせていただきますようよろしくおねがいします。これをもちまして開会のご挨拶とさせていただきますと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「協議、報告、質疑、意見交換」

議事に沿い、協議事項及び報告事項について、事務局より説明した後、質疑または意見交換をおこなった。以下は、質疑または意見交換を行った事項について記載した。

2. 協議事項

◎平成26年度事業報告及び平成26年度決算見込みについて（野辺説明）

齋藤会長

最初のほうにありました。くにびきメッセでのイベントなんですけど、来場者が4千人ということで盛況だということで評価をされているようですけれども、私も行きましたけれどもせっかくだくさんきておられるんですけどどっちかというところ食のほうにお客さんが注目してあんまりジオパークについての説明とかを聞いてなかったように思います。

パンフレットを配ったり説明をしましたけれどもあんまり誘客につながるような効果があったのかなと疑問があるところでした。今年度以降もつづけるということなので運営会社の専決にあたってたとえばプロポーサルとかきちんとジオパークのことをどのようにつたえていくかということ協賛してやっていただきたなと思いますいかがでしょうか。

野辺事務局長

今、指摘がありました。昨年松江で実施したイベントにつきましては、認知度をあげるというところで開催させていただきました。

来年度5月にやるジオパークフェスタにつきましては、誘客を含めた内容にしたいということで実際に会場に観光旅行会社に来ていただきましてそこで旅行商品の販売を具体的に実施しようと考えています。プロポーサルでは、そこら誘客につなげるイベントの内容を提案したところを含めて山陰放送さんをお願いしたところになっています。

齋藤会長

一周年のシンポジウムについては参加者が以上に少なかったと思っております。
そのあとの神楽などを交えたイベントは盛況だったんですけども肝心の1周年のシンポジウムは先生のいいお話しがきけたんですけども行政関係機関の方々が余り集まってなかったように感じられましたがこの辺どう考えていますか。
また、動員をかけられて満席になるくらいのつもりでやられたのかどうか。

野辺事務局長

島後でおこなったシンポジウムでは100人ぐらい来場されましたが、当初、思ったより来場者は少なかった。PRはしましたがなかなか中身が堅苦しい内容ということで来場者の人数につながっていかなかったのではないかと思っております。

島前でおこなったシンポジウムでは、和泉雅子さん講師ということもありまして非常に多くの方にきていただきました。27年度は、認定シンポジウムとして隠岐観光協会と協力して開催したいと思っております。芸能的なもの学術的なものそういうところをうまくかみあわせてシンポジウムを開催していきたいと考えています。

齋藤会長

動員はしてないということですね。

野辺事務局長

隠岐合同庁舎・隠岐の島町の役場については、職場のメールで配信して周知はしていましたが参加につながらなかった。

齋藤会長

世界をねらうのにシフトしてしまっただけで啓蒙活動がおろそかに証拠でないかなと来年はその辺をちゃんとやっていただけないかなと思います。

齋藤会長

東京や大阪でのPR事業ということで、遣島使の会に私も参加させていただいていただきましたけれども、これは、県のかたに申しあげたいのですが、申し訳ないんですが、遣島使のシステム自体がきちんと回ってないと感触を受けております。たくさんの方に集まってもらったのですが、はたしてこれがうまいこと誘客やジオパークに知ってもらうことにつながるような事業につながるのかなとかなり疑問です。

細かいことは言いませんが、1つだけ言うなら年齢層が高い会社経営者などがいるんですけどもなかなかその活動ができるかなとおもうかたが申し訳ないけれども多い。
せっかく公費を使ってやるなら効果的なPRしかたがあるのではないかなと感じました。

松田会長

大阪でも東京でもあちこちで隠岐人会がありますが、ほとんど参加される方が会社の社

長さんだけで、若い方の参加者が少ないと思います。隠岐人会のイベントはどうしてもこのような構成団体の方が多く若い方の参加が少ないと思います。

もう少し認知度をあげていくということになりますと若い人をどうして巻き込んでいくかが課題でございます。

野辺事務局長

そうゆう面では、今年度、モンベルという会社と提携をいたしまして、モンベルが開催するイベントにも参加しています。モンベルさんは全国で会員が40万人ということで今後は、モンベルの中で隠岐のツアー商品を開発して販売していただくということで4月から実際にモンベルでホームページ上でジオパークの旅行商品をだしていただいとを考えていまして、現在、協議をしているところです。

モンベルさんは、シーカヤックとかトレッキングとかそうしたアウトドアを行う年齢層の低いところ40代を中心とした30~20代の年齢層をねらった誘客をかんがえています。

平成27年度事業計画（案）及び平成27年度当初予算（案）について（野辺事務局説明）

齋藤会長

今年の11月にユネスコの正式プログラムになるということなんですが正式になった場合、世界ジオパーク・日本ジオパークで何か変化はございますか。

中核施設を作ろうということなんですが、これは何を作るんですか。例えば、博物館とかどんな感じのものなんですか。なにかまとまったものがあれば教えてください。

野辺事務局長

まずユネスコの正式のプログラムになるということは国の担当省庁がきまるということですね。現在、世界遺産の場合は文化庁がユネスコの国内委員会というのが世界遺産のほうは窓口になりますが、ジオパークのほうは担当窓口のほうは国の省庁がありませんでした。

現在は、議員連盟ができたということとユネスコのプログラム化に向けて動いている内閣府が、今後4月以降内閣府が窓口になって取り組むままでは国の省庁が窓口がしっかりしていませんでしたが、内閣府がやるという予定です。

基本的に各島の基本的施設にジオパークのガイダンスを受けるような施設が必要ではないかという意見がありまして、今のフェリーターミナルを中心に検討しています。また、知夫村さんにつきましては平成29年にフェリーターミナルが新しくなるということもありましてターミナルの中にジオパークの知夫里島の拠点施設にするということを考えていま

す。海士町さんにつきましては、博物館的なものを今後整備していくことを議会に報告している中身については今後検討していく。西ノ島町さんにつきましては、ふるさと館を中心としてやっていく。隠岐の島町さんは自然館および今後具体的なことを考えていく調整を図りながら考えていきたい。

ジオパークは島全体で行いますのでそれぞれで、施設整備をやっていきますので、全体的なイメージを協議会で考えて各町村が考える施設の役割を考えて具体的な中身については各町村がやっていくまだまだ決まったものではなく調整を行なっていく。

斉藤会長

なぜそのような質問をしたかというと博物館が本当は必要である。研究機関の機能は、今後絶体重要になってきますのでこうゆう構想があると聞いた時に大きな希望をいただいたので施設が学芸員とかが研究して地域の子供達とかガイドにフィードバックできるようなことができればと思いました。今後、検討委員会で検討していただければと思います。

松田会長からジオパークブランドというお話がありましたが、ほとんどの方が知らないからあるんですけども多くの方ジオパークといったらテーマパークとっていると認識の人が多く、この言葉自体が多くの方になじんでいないのでユネスコの正式の制度になればたとえば地質のキャッチコピーとして全然違ってくると思うので、日本ジオパーク委員会に参加されるジオパークの協議会の方や会長の方には、含めて提案していただきたいなと思います。一生懸命やっても知らないで終局にならないようにして欲しい。

隠岐世界ジオパーク推進協議会規約の一部改正について（野辺事務局長説明）

改正内容

- ① 会員の名称変更及び追加（別表第1）
- ② アドバイザーの追加（別表第2）
- ③ 財務規則の追加（第13条 隠岐の島町の財務規則に準ずる）
- ④ 決裁事項の追加（第14条 別表3, 4）

別表第1の「JA隠岐」は、昨年、合併いたしまして「JAしまね」と名称の変更をしましたので変更をお願いします。

◎まとめ

質疑、意見交換を踏まえ、議事については異議なく、提案のとおり承認された。

3. 報告事項

隠岐世界ジオパーク活用推進検討会議での検討状況（野辺事務局長説明）

- ・意見等特になし

斉藤会長

ずいぶんジオパークについては、関わってきたのですが、今説明のほうでジオパークについては、実はすごく難しいことなんで地学日本中でジオパークの活動を行っている日本人の地学の勉強をしている今学校で地学の勉強を教えてない我々ガイドも基本的な地質の知識を知らないし、例えば地球誌テレビなんかで勉強をしていますが、実は全部わかってないとジオパークの説明ができない今取り組みとして学校の取組として人材育成の構想があったりガイドの認定があり、また、この後、環境省からの環境プログラムの基礎的などころが国民および地域の子供たちにそれをどうするのか本當きちんと学校教育の中でやっていって授業になったらいいなと思っている。これも授業の中に制約があってその辺についてはどうですか。

野辺事務局長

そのへんのあたりの説明についてはこのあと環境省より説明があります。

3. その他の事項

- (1) 環境省事業について（環境省 新中達也説明）